# Python本の企画

目次

[Python本の企画 1](#_Toc532796830)

[コンセプト 1](#_Toc532796831)

[読者層 1](#_Toc532796832)

[構成 1](#_Toc532796833)

[ページ数 1](#_Toc532796834)

[内容 2](#_Toc532796835)

[リファレンス 2](#_Toc532796836)

## コンセプト

非エンジニアのビジネスパーソン向けに実務に使えるPythonのスクリプトやツールを紹介する本にする。実行方法と結果を紹介してコードがわかなくても使えるようにする。プログラミングの入門書ではないため、文法やプログラミングそのものの解説は基本的に行わない。但し、読者がプログラムのコードを変更できるように要点やパラメーターなどのところは説明する。Pythonのようなスクリプト言語の利点の1つとしてデータと組み合わせて煩雑な作業を自動化する手順を紹介する。

## 読者層

読者層として以下のような職種を想定する。

* 一般事務・OA事務: 資料作成などの事務業務。
* 営業事務: 受発注管理や請求書作成などを行い、営業担当者をサポートする仕事。
* データ入力・タイピング: パソコンでデータを正確かつ迅速に打ち込む。
* 経理・会計・財務: お金を管理し、経営をサポート。
* 総務: 会社組織全体が円滑に動くために欠かせない、潤滑剤の役割を果たす。
* 人事: 会社のコアとなる「人財」を動かしていく、影なるビジネスの立役者。
* 学校・大学事務: メインは施設管理や来客応対、経理補助。
* 通訳・翻訳: 複数の言語を操る語学力が肝。
* 広報・宣伝・IR: 会社の情報を世の中に発信。売上やイメージアップを図る戦略家。
* マーケティング・企画: 市場調査で顧客のニーズをキャッチ。

## 構成

### ページ数

仮に総ページ数を288ページだと仮定すると、説明する内容とページ数の関係は以下になる。

* 2ページ → 144個の項目
* 4ページ → 72個の項目
* 6ページ → 48個の項目

### 内容

How と What の切り口を考える。

* How からの切り口 (基本)
  + Web ページをスクレイピングする
  + CSV ファイルを読み書きする
  + CSV データからグラフを生成する
  + Excel の指定したセルを読み書きする
* What からの切り口 (応用)
  + Web ページから簡単に資料を作成するコツ
  + 毎月の請求書作成を自動化するワザ
  + 業務でそのまま使えるExcel資料をデータとテンプレートから自動生成

非エンジニアは How には興味がないかもしれないが、What をするためには How も知っておく必要がある。前半を How に、後半を What にするといった構成を検討する。How を組み合わせて What を構成する、もしくは What を実現するためには How を知っておく必要がある。どちらの切り口であっても How と What の両方を含める。

### リファレンス

* <https://ja.wikipedia.org/wiki/Python>
* <https://www.python.jp/>

